

事業評価シート（平成24年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	こころと命のサポート事業		
事業担当	福祉部 福祉総務課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'03	③〈健康・安心・福祉力〉その人らしく安心できる生活を支援する	
	'01	1 総合的なサービスを展開する地域ケア体制を充実する	
根拠法令等	平塚市民のこころと命を守る条例		
対象・受益者	市民	事業期間	平成24年度 ~
委託、協働	【委託： 3セク・財団 ○企業 NPO その他】 【協働： 浜岳子ども読書活動推進協議会】		
目的・目標		事業の概要	
平塚市民のこころと命を守る条例に基づき、総合的自殺対策の推進や自死遺族等に対する支援の充実により、市民が健康で生きがいを持って暮らすことができる社会の実現に寄与することを目的とします。		健康で生きがいを持って暮らすことができる社会の実現のため、相談体制の充実や市民への積極的な啓発等、自殺に関する総合的対策を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	メンタルヘルスセルフチェックサービスアクセス件数			単位	件
	説明・算定式	うつ病初期症状スクリーニングシステム(メンタルヘルスセルフチェック)の年間利用件数(平成24年度から)				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標			60000	63000	
	実績			109176		
活動指標②	指標名	研修会・講演会実施回数			単位	回
	説明・算定式	(平成24年度から)				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標			4	4	
	実績			7		
成果指標①	指標名	自殺者数			単位	人
	説明・算定式	条例が制定された平成19年の自殺者数(警察統計)を基準値とし、3年ごとに基準値の5%ずつの減少を目標値とする(年統計)(平成24年度から)				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標			65	65	
	実績			43		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成24年度の主な取組と成果						
各種広報媒体を通じた相談窓口情報の周知、自殺に関する基本認識やゲートキーパー養成に関する研修会、中学生を対象とした生き方・命の大切さを学ぶ講演会の実施、職員、関係機関の連携協力を進めるための会議の開催、うつ病や心の健康に関する普及啓発のためのメンタルヘルスセルフチェックシステムのサービス提供、協働で取り組む「命の大切さ」の普及啓発等を地道に継続することにより、自殺の問題への理解や命の大切さについての普及啓発が進みました。						
平成24年度の検証結果	A：成果があがった					

	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
事業分析	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	条例では、総合的自殺対策を推進することで、市民が健康で生きがいを持って暮らすことができる社会の実現に寄与することを目的としています。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	「自殺の問題」に関する正しい理解と、「命の大切さ」を普及啓発していくことは、長期的な目線で継続的に実施していく必要があります。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input checked="" type="checkbox"/> その他	相談窓口を持っている関係各課では、市民の様々な相談対応をしており、広い意味で自殺予防につながっているため、関係各課の連携体制を強化していく必要があります。	○ 高 ● 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	地域自殺対策緊急強化交付金事業(10/10補助)を活用した事業展開の中で、補助金終了後は事業内容の縮小が見込まれます。地域レベルでの普及啓発推進を図るために、協働事業の手法を活用します。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析		効果的に自殺対策を推進していくため、庁内、関係機関との連携体制を強化していく必要があります。また、悩みや困りごとを抱えている人に気づき、適切な支援につなげていくための声掛けができるゲートキーパーを養成し、広げていくことが重要です。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容				メンタルヘルスセルフ チェックサービスの提 供、研修会等の実施	メンタルヘルスセルフ チェックサービスの提 供、研修会等の実施
財源 内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	1,570	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	161	1,208
事業費 (A)		0	0	1,731	1,208
執行率 (%)		—	—	99.94	
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	1.20	1.07
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	9,618	8,505
フルコスト (A+B)		0	0	11,349	9,713

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の取組方針	市民への普及啓発と関係機関との連携強化を進めるとともに、ゲートキーパーとなれる人材を育成し、総合的自殺対策を推進します。
課長コメント	市民への普及啓発、人材育成、庁内外との連携強化を図り、総合的自殺対策を推進します。